

# とめ 市議会 だより

第87号

2026年5月1日発行



- タイトル：inside the frog
- 作者：宮城県佐沼高等学校  
2年 てらさき 寺崎ひより
- ジャンル：アクリル画

## 目次

令和8年度当初予算	2
ズームアップ（2月定期議会）	5
委員会活動報告	6
代表質問	8
一般質問	10
表紙について	16

# 111の事業 511億1230万円

前年度比 3.0%増

放射性物質汚染廃棄物対策  
ふるさと応援寄付金事業費

10億9600万円  
3億8600万円

## 公共施設建設関連予算

米山複合施設建設 12億4000万円  
(仮称)地域交流センター整備 4億1100万円

## 子育て支援予算

米山こども園施設整備 5270万円  
New 子育て世帯訪問支援 480万円

## 農林業・商工関係予算

林業振興 1億1100万円  
畜産総合対策費 1900万円  
New 道の駅津山屋内木育広場整備 1100万円  
スマート農業等普及推進 1000万円  
鳥獣被害対策 1000万円  
New (仮称)肉フェスティバル 300万円  
農業担い手確保育成 200万円

## 市民生活関係予算

New 市外病院移動支援実証実験 500万円  
市民活動団体移動支援 110万円

## 教育・学校事情関係予算

(仮称)東部給食センター整備 11億8000万円  
New 学校給食負担軽減 4億円  
旧登米尋常小学校校舎耐震対策 400万円

## 道路整備事業予算

道路新設改良 6億5900万円  
橋梁長寿命化 2億4400万円  
市道舗装補修 2億2000万円

## 防災関係予算

消防ポンプ整備 7200万円  
災害対策費 3900万円  
高規格救急自動車整備 3300万円

## 特別会計予算

国民健康保険 87億5065万円 2.0%↓  
後期高齢者医療 10億6930万円 4.7%↑  
介護保険 110億5150万円 0.9%↑

## 企業会計予算

上水道事業 【収益的収入】 28億7384万円 1.5%↓  
【収益的支出】 29億4654万円 3.2%↑  
下水道事業 【収益的収入】 38億3371万円 0.2%↑  
【収益的支出】 37億7868万円 0.5%↑  
病院事業 【収益的収入】 82億5928万円 4.1%↑  
【収益的支出】 88億2762万円 2.0%↑  
老人保健施設 【収益的収入】 5億8658万円 6.2%↑  
【収益的支出】 5億7609万円 5.6%↑

## 令和8年度当初予算にかかる

# 総括質疑

### 歳入構造への質疑

問 自主財源比率低下をどう認識するか。  
答 自主財源の「額」は大きく減っていない。交付税などの増加で予算総額が膨らみ、比率が低下している。今後は収納率向上やふるさと納税拡大で自主財源確保を図っていく。

問 一般財源が増えた理由は。  
答 国の地方財政対策で交付税などが増額され、地方一般財源総額が確保されたため。

問 市税増加の要因は。  
答 給与所得・農業所得の増、法人税割増、固定資産税増などを見込んでいる。

問 1 歳出構造への質疑  
義務的経費  
答 扶助費増加への対応は。セーフティネットであり必要額を確保。その他経費は事業の選択と集中、積算精査で対応した。

問 生活保護費は一般財源持ち出しになってないか。  
答 交付税は生活保護費単独で算定されるものではないため、明確に持ち出し額を示すことは難しい。

### 障がい福祉サービス費

問 障がい福祉サービス費は足りているのか。  
答 審査会を経て必要なサービスを提供しており、現時点では適切に対応できていると認識している。

問 2 投資的経費  
投資的経費が大幅減となった理由は。  
答 前年度の大型事業(消防通信指令センターなど)の終了と、公共施設整備事業のスケジュール見直しによる減少である。

問 3 物件費・その他経費  
行政システムの標準化、施設整備委託料、放射性廃棄物対策、物価高騰による委託料増が主因。

問 財政の健全性・財政指標への質疑  
経常収支比率が高い現状の認識は。  
答 硬直化は懸念している。ただし、ふるさと納税など反映外要素もあり、比率のみでは判断できないと考えている。

問 市長の政策予算の自由度についての認識は。  
答 厳しい状況。自主財源確保と事業見直しで改善を図る。

### 公債費への質疑

問 今回計上されている約55億円の市債の実質負担額は。  
答 交付税措置後、約19.8億円と見込んでいる。

問 それは年間負担額にするほどの程度か。  
答 最長30年償還で平準化すると、実質平均年負担は約6600万円となる。

問 市債は将来世代への借金ではないか。  
答 将来世代も利用する社会基盤整備費を世代間で分担する仕組みであり、単なる借金とは異なる。

問 企業会計への繰出は青天井になっていないか。  
答 課題認識はあるが、生活インフラ維持のため一定の繰出は必要。経営改善で抑制を目指す。

問 繰出金は赤字補填ではないのか。  
答 現在のサービス提供体制維持のための支援であり、同時に経営改善策も進めている。

### 予算編成の背景・全体像

問 予算規模が過去2番目となった理由は。  
答 放射性廃棄物対策費、社会保障費の増、物価高騰などが主な要因となっている。

問 8年度予算の位置付けは。  
答 第三次総合計画の初年度として、将来像実現に向けた第一歩となる予算である。

問 今回予算編成のテーマは。  
答 「健全な財政基盤の維持」と「夢のある都市づくりのリスタート」である。

問 政策分野・重点施策への質疑  
今回重視した分野は。  
答 交通弱者支援、食による誘客、給食費負担軽減など。

問 市長が任期中に進めたい施策は。  
答 市立3病院の再編方針を示し、地域医療体制を再構築することである。



前年度の内容はこちら

# ズームアップ

## 2月定期議会で話し合ったこと

令和8年定例会2月定期議会は2月2日～3月12日までの39日間開会され、議案30件を審議し条例制定1件、条例の一部改正4件を含めすべて原案のとおり可決しました。

### ■ 補正予算

#### \* 議案第5号令和7年度一般会計補正予算(第10号)から 議案第13号令和7年度老人保健施設事業会計補正予算(第2号)まで



一般会計では、歳入歳出それぞれ5347万円を追加し、可決。予算の総額を974億6851万円としました。また、「登米市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例」の制定や「登米市過疎地域持続的発展計画」、「第三次登米市環境基本計画」の策定などを審議しました。条例の一部改正では、手数料条例や行政手続き条例、火災予防条例などの改定と監査委員条例等の一部を改正する条例に係る専決処分の報告を受けました。

主な補正内容は下記のとおりです。

#### ・保健衛生総務費

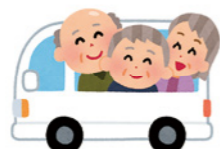
地域医療対策事業として、大崎市民病院救命救急センター運営費に対する負担金を計上したものを。



(570万円)

#### ・公共施設複合化整備事業(米山地区)

建設資材の納品遅れや土中ヒ素の処理などのため工期が全体として遅れ、開校年度を1年延長することにしたものを。(▲10億900万円)



#### ・事業会計補正

下水道事業会計  
老健施設事業会計  
病院事業会計

(6821万円)  
(2163万円)  
(▲41万円)

### こんな質疑がありました

**Q** 増加の原因は、想定より緊急搬送が多かった為なのか。また、本市民病院で受け入れ出来なかったのか。

**A** 構成している3市4町が前年度患者数に応じ按分する仕組みに基づき、前年度比+38人となり増額。

受け入れ出来ない搬送は、前年度より減少しており、今回の増額要因ではない。

**Q** 土中ヒ素は工期に影響なしと答弁していたが、遅延理由の経緯は。追加費用見込みは。

**A** ヒ素対策期間の長期化で、基礎掘削工程に約3か月、さらに鉄骨納品遅れ・体育館空調追加等が重なり、全体で約6か月延伸となった。また、土壌汚染対策の完了により、今後の処理費は見込まれない。

**Q** それぞれの事業会計における他会計補助金の拠出額の根拠は。

**A** 総務省の繰出金基準に沿う基準内。現金ベースの慢性的少額不足は基準外繰入で補完。(下水道事業会計)

介護サービス提供体制確保は基準外繰入。病院事業中長期計画に必要経費の一部繰出を明記。(老健施設事業会計)

基礎年金拠出、公的負担、医師確保、児童手当等7項目で拠出されている。(病院事業会計)

### ■ 当初予算



8年度当初予算は、第三次登米市総合計画のスタートに合わせ重点施策などが示され、一般会計、特別会計及び企業会計何れの予算も原案の通り可決された。

今回予算においては、(仮称)地域交流センター事業の実施設設計や、新たな事業「登米市肉フェスティバル」などが含まれているが、特筆すべきは、懸案であった指定廃棄物の処理を進めるための予算が組まれたことである。

指定廃棄物については約15年もの間、国の方針が示されないまま今日にまで至っているが、今回その処理方針が県と国から示され、本市としても了承して事業化された。

### ■ 条例の制定

#### \* 議案第24号 登米市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例



子ども子育て支援法に基づき、多様な働き方やライフスタイルにかかわらずの支援を強化するため、保護者の就労要件を問わず、保育所幼稚園認定こども園に通園していない0歳6か月から満3歳未満の乳幼児等を対象に、月一定期間までの利用可能枠の中で柔軟に利用できるよう運営基準を本条例にて定めるもの。

### ■ 条例の一部改正

#### \* 議案第25号 登米市行政手続条例の一部を改正する条例

デジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行により、本条例の一部を改正するもの。

・「営業停止処分」や「許可の取り消し」など、特定の宛名人に対する告知について、ホームページなどの電子媒体でも、告知することができるようになった。

#### \* 議案第26号 登米市職員の懲戒の手續及び効果等に関する条例等の一部を改正する条例

人事院勧告に基づき、関係条例の一部を改正するもの。

・主に公務員、会計年度任用職員として中途採用や懲戒を含めた行為を行う場合、特別な技量保持者に対して条件面を勘案しながら対応できる制度に変更した。

#### \* 議案第27号 登米市手数料条例の一部を改正する条例

証明書等の電子申請におけるキャッシュレス決済の導入に伴い、本条例の一部を改正するもの。

・市に証明書などを請求する場合、その送料は請求したものが支払うことが条例化された。

#### \* 議案第28号 登米市火災予防条例の一部を改正する条例

消防庁次長通知により、市火災予防条例の一部を改正するもの。

・6キロワット以下の簡易サウナ施設で営業する場合の防災基準を定めた。

### ■ 計画の策定

#### \* 議案第29号 登米市過疎地域持続的発展計画の策定

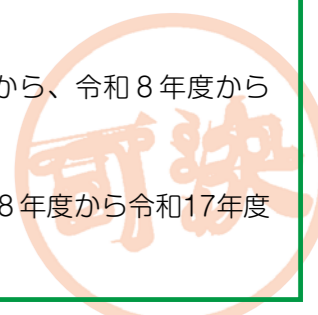
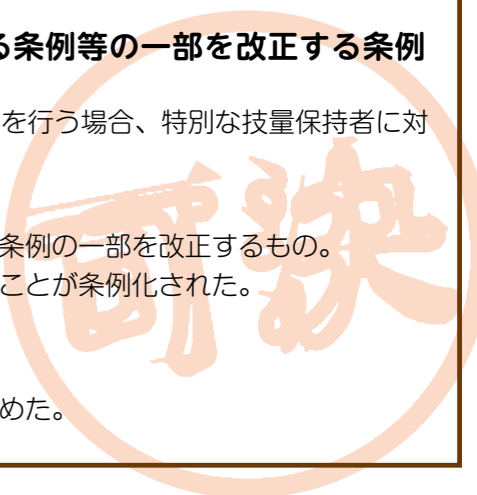
第三次登米市総合計画を上位計画として過疎地域の持続的発展に向け推進する。

#### \* 議案第30号 第5次登米市行財政改革大綱の策定

現行の登米市行財政改革大綱の計画期間が令和7年度をもって終了することから、令和8年度から令和12年度までを計画期間とする第5次登米市行財政改革大綱を策定する。

#### \* 議案第31号 第三次登米市環境基本計画の策定

現行の環境基本計画の計画期間が令和7年度をもって終了することから、令和8年度から令和17年度までを計画期間とする第三次登米市環境基本計画を策定する。



### 総務企画常任委員会 活動報告

#### 選挙投票区再編基本方針

(1月8日)  
選挙投票区のあり方については、これまでも検討事項がある中で選挙事務を執行してきた。本年度執行した3つの選挙において、課題を整理し策定した「選挙投票区再編基本方針(案)」の説明を受けた。

再編の必要性としては、人口減少による選挙人の減少、投票管理者や立会人の選定が難しい状況、また、期日前投票制度が年々浸透し、当日の投票者数が減少傾向にあることなどであった。

今後は全投票区を対象とし、有権者数や地形、日常生活圏など地域の実情を踏まえながら、1投票区の適正規模で効率的な形態を、選挙人1000人から3000人として再編を進めるとのことである。

再編基準として、選挙人1000人未満の投票区は統合を検討し、現在



イオン期日前投票所

#### 公共施設複合化整備事業

(1月29日)  
本事業において、工期の延長により、統合小学校開校時期への影響が生じることについて説明を受けた。

基礎杭打設時などにおいて、掘削土から基準値を若干上回る自然由来のヒ素検出に伴う土壌汚染対策や、全国的な鉄骨需要の高まりによる納品の遅れ、アリーナへの空調設備追加設置に伴う施工図の調整などに不測の日数を要したことから工期延長が必要となり、複合施設のうち校舎などは9年6月、体育館は9年10月の完成見込みとなった。

米山公民館などの解体は、最短でも建物の部分引渡し完了後の9年7月以降となるため、解体およびグラウンドの整備に要する工期を踏まえると、複合施設全体の竣工

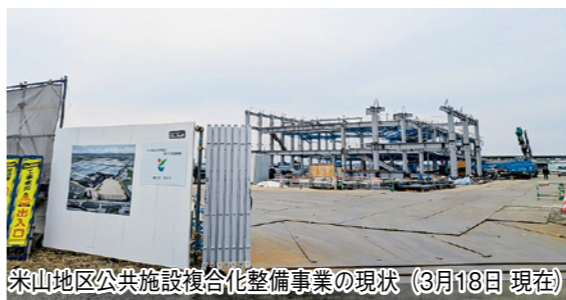
### 教育民生常任委員会 活動報告

#### 公共施設複合化整備事業

(1月29日)  
本事業において、工期の延長により、統合小学校開校時期への影響が生じることについて説明を受けた。

基礎杭打設時などにおいて、掘削土から基準値を若干上回る自然由来のヒ素検出に伴う土壌汚染対策や、全国的な鉄骨需要の高まりによる納品の遅れ、アリーナへの空調設備追加設置に伴う施工図の調整などに不測の日数を要したことから工期延長が必要となり、複合施設のうち校舎などは9年6月、体育館は9年10月の完成見込みとなった。

米山公民館などの解体は、最短でも建物の部分引渡し完了後の9年7月以降となるため、解体およびグラウンドの整備に要する工期を踏まえると、複合施設全体の竣工



米山地区公共施設複合化整備事業の現状 (3月18日 現在)

### 産業建設常任委員会 活動報告

#### 企業訪問

(1月14日)  
株登米精巧は、平成元年に設立され、現在110名が就業している。意見交換と工場見学を通じて、地元を代表する優良企業として、企業の将来性に大きな期待を感じるとともに、本市と共

に、地域住民に対して迅速かつ細やかな情報提供を行い、安心して開校を迎えられるよう努められたい。

意見交換会  
産業振興会は、人材確保や研修に取り組み、地域産業の活性化と地域経済の発展に寄与している。



企業ガイダンス

#### 高校1・2年生向け企業ガイダンスを調査

(1月27日)  
高校1・2年生を対象に初めて開催された企業ガイダンスを調査した。生徒たちは各企業ブースで真剣に説明を聞き、これまでイメージでしかなかった仕事について理解する機会となったようだ。就職という人生の大きな選択について早い段階から学ぶことは、自分の将来を考えるきっかけとなつてほしい。

本事業は市内企業の魅力などについて、理解と関心を深めることを目的としており、今後も継続した開催を望むとともに、多くの生徒が市内企業へ就職することを願うものである。

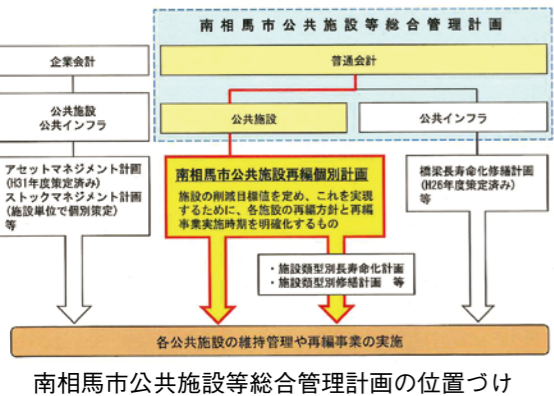
### 総務企画常任委員会 行政視察報告 (1月21日~22日)

公共施設等総合管理計画は、平成28年度から20年間で保有総延床面積の25%の縮減を目標としているが、計画通りに進んでいない状況であることから、先進自治体を視察した。

#### 千葉県袖ヶ浦市 公共施設再配置方針及び公有財産活用方針

(1月21日)  
袖ヶ浦市は、施設評価で「重要」と位置づけした整理対象の公共施設について、アクションプランを策定し、目的意識を高く持った上で計画推進していた。

また、取り組みは、施設を所管する各部署で進めるが、政策的な意思決定などについては、推進本部にて一元管理することにより先送りが少ない状況であった。  
本市は、民間需要が少ないことや、土地の活用が定まらないことによる除却の先送りが続いて



南相馬市公共施設等総合管理計画の位置づけ

いる現状である。除却に係る予算措置、売却や貸付だけでなく譲渡に関する検討すべきものとした。

#### 福島県南相馬市 公共施設再編個別計画及び公有財産活用基本方針

(1月22日)  
南相馬市は、公共施設が活用を終えた時点で「普通財産」化したし、公有財産管理課にて専門的に運用検討したうえで、計画を推進していた。さら

また、活用方針が未決定の施設については、所管部局に対し判断を仰ぐなど、細かな取り組みも行っているようだ。  
本市として参考となる内容であるため、今後も研究するとともに、思い切った決断と実行も必要であると考える。

### 議会改革推進会議 行政視察報告 (1月19日~20日)

#### 三重県亀山市 基本条例検討課題カレテ

(1月19日)  
議会改革推進会議を中心に継続的な議会改革を推進し、特に検討課題カレテを活用した課題管理を徹底していた。課題を「見える化」することで検討経過や対応状況を共有し、議員間の共通認識を図り、着実に改革を進めていた。

また、議会基本条例についても制定後の検証を重視し、条例を作った終わりにせず、議員自らが見直しに関与し、議会全体で「自分ごと」として捉える姿勢が印象的であった。

#### 三重県松阪市 議会のトリセツ

(1月20日)  
全議員参加の体制を基本に、作業部会方式を併用し、部会で具体的検討

議会のトリセツ

# 会派代表質問

2月定期議会において、市長から8年度の施政方針が示され、5会派の代表が質問を行いました。内容を要約してお知らせします。

## 会派 代表質問者

- 新・立志の会 伊藤 善博 議員
- ウィズToMe 遠藤真理子 議員
- 大地の会 佐々木幸一 議員
- 日本共産党市議団 鈴木 実 議員
- 太陽の会 氏家 英人 議員

### 問 市政運営3つの重点政策について

### 答 実現に向け全力で取り組む



伊藤 善博 議員



問 病院事業に関して、所信表明で述べた内容を検証し施政方針に反映したのか。

答 市立病院の在り方検討委員会を立ち上げ、医療提供体制の維持や病院事業の最適化を図ることを目的に、市立3病院の在り方を検討しており、その検討結果を踏まえ方針とした。

問 政策「やすらぎまちづくり」の中にある8つの個別政策で、特に重点として捉えている政策は。

答 どの分野も重要だが、交通弱者に寄りそう地域交通も含め「社会基盤の充実」を重点とする。

問 政策「にぎわうまちづくり」で、今後の市内産業の姿をどのように創造していくのか。

答 全ての産業の活性化が第一であり、相互に補完し

合う連鎖が構築され、地域資源が循環する地域経済の持続的な発展が理想と考える。

問 政策「つながるまちづくり」について、もっとも重点と捉える個別政策は。

答 学校給食費負担軽減事業は、現在の社会情勢において、保護者の経済的負担軽減も図れることから「学校教育の充実」を強力に推進する。

問 全体的に8年度の年間をどのような思いで計画を進めるのか。

答 3つの重点施策達成の先にある「あふれる笑顔、豊かな自然、住みたいまち」とめの実現に向け全力で取り組む。

### 問 施政方針、政治姿勢について

### 答 市民生活第一主義の姿勢で取り組む



遠藤真理子 議員



問 「断らない救急」や「周産期医療の確保」といった政策的医療を掲げているが、経営の健全化・効率化をどう両立させるのか。

答 昨今の社会情勢の変化(物価高騰、人件費上昇など)で医療費用が増加し厳しい経営状況が依然として続いている。しかし、自治体病院として政策的医療の提供は必要不可欠と捉える。

問 使命は理解するが、救急や周産期は不採算部門の一つである。県の周産期医療構想にも、分娩を取り扱う医師の不足やハイリスク分娩の増加など、長時間労働を余儀なくされる過酷な勤務条件がある。

今後、医療提供体制について在り方検討委員会の結

果をもとに判断していくと思うが、市民に痛みを伴う説明が必要となる場合があれば市長が前面に立って説明するという理解でよろしいか。

答 私自身が先頭に立って説明する。

問 行財政、市長の政治姿勢について

問 迫り舎について最終判断を行う際、重視する判断軸と覚悟は。

答 まちづくりは財政的負担を圧縮する形で将来を迎えたい。9町域全体をみて、数値化されたものを基に総合的に判断し、その過程も示していきたい。私自身の責任が伴うものと理解している。

### ウィズToMe

### 問 市長の施政方針を問う

### 答 3つのまちづくりキーワードに沿う



佐々木幸一 議員



問 人口減少対策を最重要プロジェクトと位置付けているが、どう効果的に進めるのか。

答 子育て支援、産婦人科、小児科などの誘致が効果的と考える。

問 病院の経営改善に向けた具体的な対策は。

答 病床稼働率の向上、新たな加算取得に努める。診療報酬改定も注視する。

問 市立3病院の在り方を検討中だが、3病院を維持するのは困難か。

答 大変難しい。

問 市民バス、住民バスおよびデマンド型乗り合いタクシーの方向性は。

答 これらの事業を重層化し、利便性の向上と交通弱者の支援を充実する。

問 JRやBRTを観光に結び付ける構想は。

問 JRや観光業者などと連携し観光誘客を図る。

問 地域課題を解決するため、起業・創業を支援する官民連携の体制構築を。

問 産学官金連携による起業者の育成支援に取り組み、伴走支援を行う。

問 市長は新たなまちづくり策を5〜6月頃までのような内容で示すのか。

答 地域交流センターの在り方、にぎわい創出、登米市全域のまちづくりをどう進めるかを示したい。

問 不登校対策にどう取り組むのか。

答 この年の支援専門監を配置し学校と連携強化を図る。

問 小中学校再編構想をどう見直すのか。

答 中学校の再編を4校案としてきたが、全学年複数学級となるよう再編する。

### 大地の会

### 問 第三次総合計画のキーワードが重点策か

### 答 基本政策の3つを重点策に位置付けた



鈴木 実 議員



問 重点政策を三つにしたのはなぜか。

答 継続的な施策事業に関して、抜本的に改革、見直すところはまだ至っていない。より効率的な事業のあり方を、今後、示していきたい。

問 第三次基本計画は、第二次基本計画の延長線と捉えているが、市民生活第一主義との関わりは。

答 施策に関しては、今回提案したすべてが市民生活に資するものだと思う。

問 登米市の医療の在り方の方針が示された後の説明会は。

答 できるだけ広く皆さん周知するよう努めたい。

問 ブランド化を進めることにより本場に畜産農家

が潤うのか。

答 畜産の経営状況は、配合飼料の価格高騰により、生産費が増加している。肥育農家は、子牛価格と配合飼料の高騰が生産費を押し上げ、さらに、枝肉価格の低迷で、経営的に厳しい。1月には、緊急支援策なども行っており、登米市の畜産のすべてのブランド化によって畜産振興の底上げをしていく。

問 指定廃棄物処理について、歴代の市長や議会は国で処理してもらうとしていたが。

答 年月の経過で、8000ベクレル以下に減衰した。保管している農家の負担軽減を図ることを第一義的に決定をした。

### 日本共産党市議団

### 問 新たな図書館整備の考えは

### 答 総合的に判断していきたい



氏家 英人 議員



問 新たな図書館整備については現在、図書館機能を含む(仮称)地域交流センター整備事業の基本設計を実施していることから総合的に判断することだったが、市長の言う「総合的判断」とはどのような意味なのか。

答 新たな図書館の整備は、多機能型複合施設として整備する(仮称)地域交流センターの一つの機能としており、将来の財政負担への影響、建設エリアの浸水対策、職員駐車場の確保など、想定される懸案事項に対応が可能なかを見極めたいということである。また、地域のにぎわいを創出する交流拠点、幅広い世代の人々が気軽に集まり、過ごせる憩いの空間が提供できる内容であるのか、こちらも見極めたい。

問 「学びの多様な学校」についての検討は進んでいるのか。

答 教育委員会において白石市と富谷市に設置されている公立の「学びの多様な学校」を視察し調査してきた。その調査結果を踏まえ、本市の不登校の実態と照らし合わせ、ニーズに合致するか、けやき教室や子ども心のケアハウスにおけるこれまでの支援との関連など、さまざまな視点から公立の学校として整備できるような総合的な検討を進める。

問 「公立」にこだわることはないと考えるがどうか。

答 まずは「公立で」と考えているが、さまざまな視点を持ちながら検討する。

### 太陽の会

# 2月定期議会一般質問

## 13人の議員が 市政に対する一般質問を行いました。

一般質問は、議員の調査研究活動や、住民の声、自身の考え方をもとに、市政全般にわたって市長などの方針を問うものです。



### 問 いじめや不登校増加の認識について

**答** さまざまな要因が複雑に絡んでいる



佐々木好博 議員

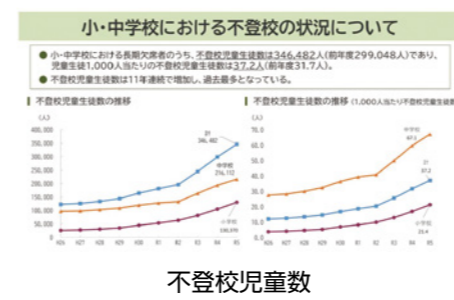
**問** 不登校児童生徒を学校に戻す事が目的なのか。  
**答** 文科省としても不登校は問題行動ではないとしており、学校に復帰させることだけが目的ではない。

**問** 学校に「行かない」という選択肢に対応していくと不登校者数が増えていく。それは現行の教育制度を成り立たなくしていくことではないか。  
**答** 現在社会情勢などの変化により教育全般についての過渡期にある。表現の体制で子供たちの居場所を確保していきたい。

**問** 成長過程の多様性ということがある、不登校を全て問題行動という偏見を変えていかなければならず、本市「登米市子ども・子育て条例」が果たす役割は大きい。その



上で教育全体の方向をどのようにしていくのか。  
**答** それぞれの子どものそれぞれの学びがあるように、学校にもそれに応えるような教育課程の作成、あるいは支援の仕方が求められている。教育委員会としては不登校を契機として学校の在り様を考えていく。



不登校児童数

### 問 市長自らがトップセールスすべきでは

**答** 前向きに検討していきたい



浅田琢哉 議員

**問** 私は、登米市のブランドイメージの確立のため、創業者が本市出身で全国的にも世界的にも活躍されている方々からの発信といった、新たな別のチャンネルからのアプローチの必要性を感じている。在るものを見つめなおし、磨き上げる力として、市長自らがどんどんトップセールスすべきではないかと提案するが、市長の受け止めはどうか。  
**答** 新たな本市の魅力を発信する視点は参考になった。私自身が向いて売り込みをすることは、本当に重要であることから前向きに検討していきたい。

**問** 私は、新たな商品開発に関わった生徒たちが関係企業に就職し、地元に残って本市産業を盛り上げ、地域を活性化させてくれるのではと考えている。市として、高校生の「無いものを生み出す力」による、新たな商品開発に対して、もっと積極的に投資・支援すべきではないかと考えるが、市長の見解を伺う。  
**答** 高校生とのコラボ商品という部分に関して参考になる紹介であった。私自身は、農産物の商品開発にすごい思い入れがある。企業に売り込むといった高校生だけでは困難な部分に関して、行政の立場で寄り添うことが必要であるとの認識から、できるだけ推進していく考えである。高校生は面白い視点を持っていることから、今後も継続的に支援する。また、どういった支援ができるのか模索しながら、しっかりと検討したい。



### 問 本市の働き方改革について

**答** 働く環境の整備をしっかりと検討する



田村啓峻 議員

**問** 働き方改革をどのように定義し、その取り組み・課題をどのように認識しているのか。  
**答** 職員が能力を最大限に発揮できる職場環境を整え、時間外勤務の縮減、有給休暇等の計画的取得に取り組んできた。また、高度化する行政需要に対応するため適正な人員配置、ワーク・ライフ・バランスなどの課題がある。

**問** 時間外勤務と労務管理の実態について  
**答** サービス残業はないものと認識しているが関係法令などに基づき、未払いが生じないように取り組む。

**問** 時間外勤務の未申請・未命令が常態化することで、法令違反や規律違反のリスクを追う構造になっていないか。  
**答** 職員による未命令、未申請が常態化した場合、職員がリスクを負う構造となり得ることから、時間外勤務の適正な運用と把握と、適正な労務管理に努める。



### 問 能動的に人権侵害を排除すべきでは

**答** 市民の考えを踏まえた上で制度設計したい



曾根充敏 議員

**問** 人権擁護に関する条例を制定し、人権意識醸成に先進的に取り組む本市としてファミリーシップ・パートナーシップ制度はどうあるべきか。  
**答** 全ての人の人権が尊重され安心して暮らせる社会の実現に寄与する制度であり、人権尊重からも検討すべき課題だ。

**問** 人権のつどいで示された「人間が人間らしく生きる権利は、多数意見(常識)に勝る」という考え方について、市も同じ立場か。  
**答** 人権のつどいで示された「人間が人間らしく生きる権利は、多数意見(常識)に勝る」という考え方を参考にして今後の在り方を見定めたい。

**問** 人権擁護に関する条例を制定し、人権意識醸成に先進的に取り組む本市としてファミリーシップ・パートナーシップ制度はどうあるべきか。  
**答** 全ての人の人権が尊重され安心して暮らせる社会の実現に寄与する制度であり、人権尊重からも検討すべき課題だ。



### 常識 > 人間らしく生きる権利

令和7年11月28日 人権のつどい

### 問 ごみ出しに関する諸課題について

**答** 市民へのさらなる周知に努める

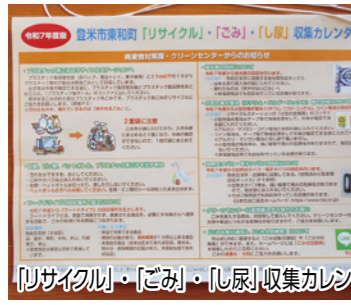


熊谷和弘 議員

**問** 本市においては、各町域ごとに「リサイクル・ごみ・し尿」収集カレンダーを作成し、全世帯に配布している。指定袋での「ごみ出し」、リサイクルステーションへの資源ごみの「ごみ出し」に関する諸課題について伺う。  
**答** ①資源ごみの出し方を守らない方、わからない方が少なくない。市民へのさらなる周知が必要と考えるが、②燃やせるごみ指定袋・小・10枚入200円の市民へのさらなる周知と、販売取扱店への協力をお願いが必要と考えるが、③リチウムイオン電池などの収集については、市民への周知と合わせて、使用済み小型充電池を回収する専用ボックスを、市役所などに設

**問** 私は、新たな商品開発に関わった生徒たちが関係企業に就職し、地元に残って本市産業を盛り上げ、地域を活性化させてくれるのではと考えている。市として、高校生の「無いものを生み出す力」による、新たな商品開発に対して、もっと積極的に投資・支援すべきではないかと考えるが、市長の見解を伺う。  
**答** 高校生とのコラボ商品という部分に関して参考になる紹介であった。私自身は、農産物の商品開発にすごい思い入れがある。企業に売り込むといった高校生だけでは困難な部分に関して、行政の立場で寄り添うことが必要であるとの認識から、できるだけ推進していく考えである。高校生は面白い視点を持っていることから、今後も継続的に支援する。また、どういった支援ができるのか模索しながら、しっかりと検討したい。

**問** 私は、新たな商品開発に関わった生徒たちが関係企業に就職し、地元に残って本市産業を盛り上げ、地域を活性化させてくれるのではと考えている。市として、高校生の「無いものを生み出す力」による、新たな商品開発に対して、もっと積極的に投資・支援すべきではないかと考えるが、市長の見解を伺う。  
**答** 高校生とのコラボ商品という部分に関して参考になる紹介であった。私自身は、農産物の商品開発にすごい思い入れがある。企業に売り込むといった高校生だけでは困難な部分に関して、行政の立場で寄り添うことが必要であるとの認識から、できるだけ推進していく考えである。高校生は面白い視点を持っていることから、今後も継続的に支援する。また、どういった支援ができるのか模索しながら、しっかりと検討したい。



置すべきと考えるが。  
**答** ①については、公衆衛生組合連合会を対象とした、研修会の開催やイベント会場での周知などに努める。②については、広報誌や出張市役所などで周知するとともに、販売取扱店の拡充に向けて協力を要請する。③については、中学生を対象にリチウムイオン電池などの適正な使い方と処分方法の啓発などにも取り組む。回収専用ボックスの設置についても検討する。

その他の質問  
・さらなる「とめふるさと大使」の委嘱で登米市の魅力発信を

問 フリースクールに空き校舎の無償譲渡を



答 可能な支援を検討していく



工藤淳子 議員

問 一関市の「フリースクール虹の学園」は、2024年4月に若手県一関市花泉町の旧花泉小学校で開園...

問 国は無償化について「国が8年度から小学校の無償化に合わせて中学校まで拡大する」と述べていたのに、8年度は小学校の完全無償化と併せて、中学校は半額補助となったその理由は。



フリースクール虹の学園 パンフレット



伊藤拓哉 議員

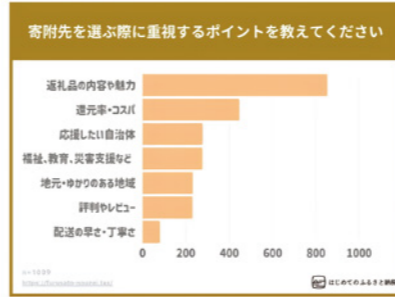
問 ふるさと納税の現状と課題は



答 魅力発信と体制強化を図る

問 本市が利用しているふるさと納税の管理運営会社はどこか。また契約内容や、市がどの程度業務に関与しているのか。

問 地域商社を活用する自治体もある。本市に同様の取り組みはあるのか。



ふるさと納税グラフ



須藤幸喜 議員

問 不具合の迅速な対応と対策を



答 公共施設等総合管理計画を見直しも考える

問 国の重要文化財である旧登米高等尋常小学校に設置されている、火災発生時の初期消火を目的とした消火栓などが、一年以上も壊れた状態で放置されていた。

問 いつまでに復旧するのか。その間の対応は。



初期消火用放水銃

問 高温障害に強い種もみの確保対策は



答 希望に即した種子確保に取り組む



關 孝 議員

答 気象情報の事前把握はもとより、警察署との連携により、事故発生箇所や危険箇所などの状況確認を徹底し、適切な対応に努めていく。



岩淵正弘 議員

問 小学校の開校期限は守れるのか



答 開校に影響が生じないよう努める

問 (仮称) 米山小学校の開校は9年4月が予定されているところ、深刻な人手不足や資材価格の高騰などの影響により、市民からは間に合わないのではないかとの声が寄せられている。

問 高温障害が多発するなか、県は高温耐性品種の作付けを5年間で2倍に増やす方針を示したが、JAみやぎ登米では一つや姫一の種もみの申込み数量が大幅に超過し、数量の調整が行われている。種子の確保と供給対策は。

問 公共施設の屋根の錆が激しく、雨漏りにつながっていく施設が散見される。修繕に多額の費用を要しないうちに対策を講ずるべきではないか。

問 道路の凍結に起因するスリップ事故が増加している。市民の安全と命を守るために、融雪作業を強化すべきだ。



雨漏りが心配される施設 (迫武道館)

問 (仮称) 米山小学校の開校は9年4月が予定されているところ、深刻な人手不足や資材価格の高騰などの影響により、市民からは間に合わないのではないかとの声が寄せられている。

問 米山地区公共施設複合化整備事業については指摘の原因の他にも、工事中の公民館事業の代替施設の確保の困難さや、採掘土からのヒ素の検出などにより、複合施設全体の完成は10年3月末を見込んでいる。なお、(仮称) 米山小学校については、開校時期を10年4月



問 石ノ森章太郎生家横の用水堀の復元の必要性については、令和3年6月と令和4年2月の定期議会における一般質問で質問していた。その際、既に農業用水施設としての機能を失っていること、また現状において、雨水排水などに支障を来していないことから、再整備の必要はない」との答弁があった。しかしながら観光資源として、生家と一体的に捉え整備する必要があると考えるが、改めて伺う。



石ノ森章太郎氏の生家と排水路

問 石ノ森章太郎生家横の用水堀の復元の必要性については、令和3年6月と令和4年2月の定期議会における一般質問で質問していた。その際、既に農業用水施設としての機能を失っていること、また現状において、雨水排水などに支障を来していないことから、再整備の必要はない」との答弁があった。しかしながら観光資源として、生家と一体的に捉え整備する必要があると考えるが、改めて伺う。

特集

定期議会

委員会

代表質問

一般質問

### 観光拠点の強化による活力創出

#### 魅力向上によりにぎわい創出へ



杉淵政博 議員

**問** トヨテツの丘公園の魅力向上策は。

**答** 年間で30万人以上が訪れる主要観光地であり、遊具は整備から30年以上経過。近い将来大規模修繕を見据え、公園全体のリニューアル検討を開始している。

**問** 観光アクセスの改善策は。

**答** 課題は「二次交通」。イベント時はシャトルバス運行や観光タクシーの活用が進む。今後も利便性向上を強化する。

**問** 本市独自のスポーツ文化を活かした観光戦略は。

**答** 相撲・アーチェリー・レガッタなど独自のスポーツは差別化要素となる。既に一定の来訪効果があり、レガッタ体験など、新たな体験メニュー

も検討中。インストラクター確保や安全管理の課題はあるが、関係団体と連携して取り組む。

#### 登米市民プールについて

**問** 水泳授業の確保は。

**答** 多くの学校プールが築30年以上。新築・大規模修繕は原則行わず、民間プール、市民プール、学校間共同利用で対応。

**問** 市民プールの今後の整備方針は。

**答** 学校プール縮小に伴い一般利用の増加が見込まれるが、まずは時間貸切可能な民間プールを優先活用。市民プールの大規模修繕は市全体の公施設状況を極めながら検討する。



大規模修繕を待つトヨテツの丘公園

### 退職する医師の補充は

#### 常勤医を継続して補充できる



及川圭助 議員

**問** 医師の補充(派遣)が難しいときの市内3病院の診療体制はどうなるのか。

**答** 常勤医の派遣が難しくなった診療科については、診療日が縮小することとなるが、診療体制を維持するため東北大学病院、東北医科薬科大学病院のほか、石巻赤十字病院、大崎市民病院へ外来診療日の曜日単位の診療応援を要請するなど、市立3病院において、できる限り受診環境が保てるように努める。

**問** 医師の退職には施設や医療設備の老朽化が影響しているのか。

**答** 施設の経年により空調設備の故障や雨漏りなどはあるものの、その都度適切に対応しているため、このことが医師の退職へ影響しているものではないと捉えている。

**問** 登米市民病院患者への満足度調査について

**答** 所信表明の登米市民病院患者への満足度調査は、「基本構想策定の過程において利用される皆様」が求める新しい病院への理想や姿を把握するため「実施する」とのことだが、具体的な実施時期は。



米谷病院

**問** 現在、登米市民病院整備検討委員会で検討を進めている基本方針において、整備に向けたスケジュール案を示したいと考えている。

## 中心市街地等活性化特別委員会

特別委員会はこれまで計4回開催され、前回までの特別委員会で決定された内容の確認や、プロポーザル提案による内容を反映した基本設計が進んでおり、その経過が説明されています。

第1回 7年10月14日

- 1) 正副委員長の互選

第2回 7年11月10日

- 1) 基本構想・基本計画の概要
- 2) 設計業務フロー
- 3) 受託事業者の提案内容

第3回 7年12月23日

- 1) (仮称) 地域交流センターの基本設計における検討状況

第4回 8年2月19日

- 1) (仮称) 地域交流センターの基本設計における検討状況
- 2) 7年度2月補正予算並びに8年度当初予算の概要

### 意見交換会の開催 (8年2月12日)

市内市民団体「NPO法人とめタウンネット」「登米市の未来をつくる会」から『(仮称) 地域交流センターと今後のまちづくりについて』を議題として本市議会へ意見交換会の申込があり、議会では、「中心市街地等活性化特別委員会」と議長・副議長を含めた12人を派遣し、迫公民館において意見交換会が実施されました。



意見交換会の様子

意見交換会には市民50人が参加し、「現在市長がゼロベースといった中で、具体的な内容がわからない。」「事業自体が進んでいるのか。状況が市民に見えてこない。」や、「本市財政への影響は。」など多くの意見を頂きました。

内容	令和7年度			令和8年度												令和9年度		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
建設工事 (建築・電気・機械) (体育館(アリーナ))																		アリーナ以外 仮使用
外構工事 (駐車場等) (アグリビオ館周辺) (グラウンド)																		アリーナ空室
解体工事 (米山公民館・体育館)																		
米山総合支所 米山公民館 体育館(アリーナ)																		支所・公民館供用開始 (7月中旬)
統合小学校 児童活動センター																		アリーナ供用開始 (11月)

※凡例：変更前 → 変更後

登米市(仮称)地域交流センター整備 設計全体スケジュール

会場では、(仮称) 地域交流センター事業は進行中であり、3月末の完了に向け現在基本設計が進められている。特別委員会としても逐次進行状況を確認している旨の内容説明などを行いました。また、その成果品が5月に提出予定となっているなど、計画スケジュールも共有されました。

## 教えて!はっとな君!

### 「代表質問」と「一般質問」の違いは何ですか?

#### 代表質問

2月定期議会で示される「市長施政方針」に対して、各会派から1名が代表して質問を行うものです。

なお、「市長が当選後に行う所信表明」に対しても行います。



#### 一般質問

市の政策全般について、発言を希望する議員が行います。

市では、年4回の定期議会で行っています。



人 事

固定資産評価審査委員会  
委員の選任に同意

- |               |               |                     |
|---------------|---------------|---------------------|
| 開 発 子 氏 (迫 町) | 佐 藤 潤 氏 (迫 町) | 富 士 原 孝 好 氏 (南 方 町) |
| かい ほう こ       | さ とう じゅん      | ふじはら たか よし          |

佐沼中学校3年生が議会を傍聴しました



議会の雰囲気を実際に感じることができ、政治が私たちの生活と深く関わっている事を実感しました。



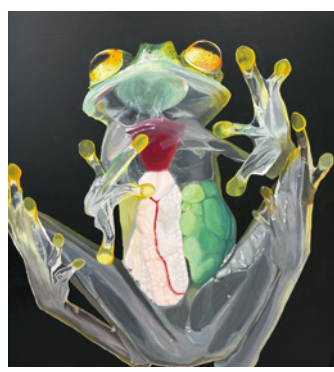
これからは市の取り組みにもっと関心を持ち、自分の住んでいる地域について考えていきたいです。



18歳になったら選挙に行って政治に参加し、登米市をより良くできるよう努力したいです。

佐沼中学校では「ふるさと教育」に取り組んでおり、その一環として2月18日に、2月定期議会を傍聴。感想の一部を紹介します。

表紙の絵について



[inside the frog]

この作品は、私が好きな蛙の外見・内部も含めた可愛さや魅力を伝えたいと思い、描きました。蛙の内臓が見えているところから「inside the frog」というタイトルを付けました。制作するときが一番力を入れたのは顔周辺です。目のつや感や細かい光が入っているところ、模様をしっかりと描きました。そしてあごの部分の透ける皮膚の感じを表現できるように頑張りました。

私は、夏休みに祖母の家で蛙を探して捕まえた思い出から、蛙を描きました。蛙を見て「気持ち悪い」で終わりではなく、可愛いなど親しみを持ってもらえると嬉しいです。

宮城県佐沼高等学校 2年 寺崎ひより てらさき

議会からのお知らせ  
6月定期議会

6月2日(火) 開会予定

本会議はインターネット中継でご覧になれます。  
なお、ご不明な点などがございましたら議会事務局までお問合せください。

スマホで!



議会中継



facebook

あ と が き

新緑がまぶしい季節となり、日ごとに春の深まりを感じる頃となりました。

本号では、今年度の当初予算をメインに取り上げ、各種政策や、条例の制定・改正など議会での主な議論について、わかりやすいよう工夫してお伝えしました。

人口減少や地域経済の活性化、防災・減災対策など、本市が抱える課題は多岐にわたりますが、市議会としては、市民一人ひとりの声を大切にしながら、持続可能なまちづくりに向け、活動に取り組んでまいります。また、議会の役割は、行政のチェック機能だけでなく、

市民と行政をつなぐ架け橋であることも重要です。開かれた議会運営につとめてまいりますので、引き続き、市議会へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(伊藤 善博)

広報広聴委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 浅田 琢哉 |
| 副委員長 | 佐々木好博 |
| 委員   | 曾根 充敏 |

発行責任者

- |    |      |
|----|------|
| 議長 | 中澤 宏 |
|----|------|

- |   |       |
|---|-------|
| 〃 | 鈴木 実  |
| 〃 | 伊藤 善博 |
| 〃 | 遠藤真理子 |
| 〃 | 田村 啓峻 |
| 〃 | 伊藤 拓哉 |
| 〃 | 杵淵 政博 |